

研究者の卵を養成

大学進学後に発揮される理数科の強み

優れた研究を行った学生に授与される「東北大学総長賞」。ここ10年で総長賞を受賞した三高OBは4名（のべ5名）。そのうち3名（のべ4名）は理数科の卒業生です。この他にも各分野で活躍している卒業生も多く、理数科での学びは大学進学後の飛躍を後押ししています。

卒業生・在校生の声



川森弘晶さん

東北大学大学院工学研究科
知能デバイス材料学専攻
博士後期課程修了

2013年3月仙台三高理数科卒業後、東北大学工学部に進学。学業成績が特に優秀な学生に贈られる東北大学総長賞を2回受賞。（2017年3月学部、2019年3月修士）
2022年3月東北大学大学院博士課程修了（工学博士）。専門はエネルギー情報材料学。

卒業して9年経った今振り返っても、三高で過ごした3年間は確実に充実した楽しい日々でした。特に理数科のカリキュラムでは“科学”に幅広く触れることができるので、興味と視野が広がります。また、3年間同じ理数科の仲間と過ごすことによる一体感も魅力の一つです。

理数科で学んだ“科学”に対する向き合い方は今も根底に身に付いていて、大学の研究にもスムーズに取り組むことができました。私の入学時はSSH 1年目でまだ始まったばかりでしたが、先生方が様々な講演や実習、見学を用意してくださり、三高の理数科で良かったと感じていました。SSH3期目となった今の三高は、より洗練され実用的な内容が増えているようなので、入学すれば成長できること間違いないです。



阿部佑美さん

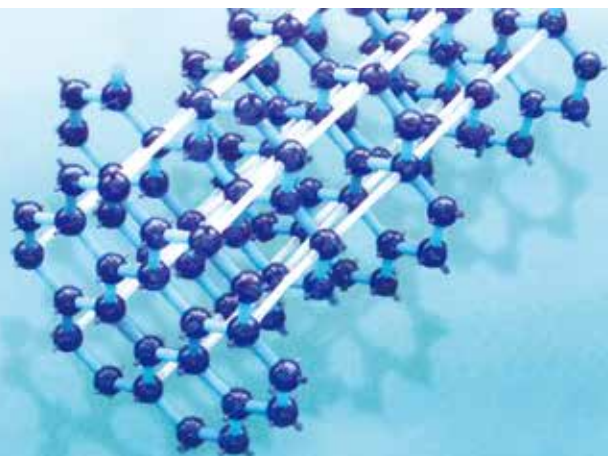
仙台三高理数科3年

貝殻にみられる真珠層の表出に関する課題研究に取り組み、本校で実施した台湾師範大学附属高級中学との交流セッションでは本校代表班として英語での口頭発表を行った。また、奈良女子大学主催「サイエンスコロキウム」や工学院大学主催「NICEST」での発表を行い高く評価されている。部活動はフェンシング部に所属し、2022年度の県高校総体では優勝を果たし、8月に行われる四国インターハイへ出場するなど、多方面にわたって活躍。

私は幼い頃から理科が好きで、課題研究活動に魅力を感じて三高理数科に入学しました。課題研究ではグループを組み、自分たちで設定したテーマについて実験し、研究を行います。先生方が手厚く指導してくださったことで研究に必要な思考力はもちろん、発表の基礎基本についても実践的に学ぶことができ、科学に関わる生きた力を育むことができました。また、研究発表は英語でも行い、海外の人とも実際にコミュニケーションをとることで、グローバルな感覚を身につけることができます。私は理数科に入学して科学分野への関心がさらに深まり将来の展望をより明確なものにすることができました。才能に溢れるクラスメートとともに過ごす毎日はとても良い刺激となります。理系に興味のある方はぜひ理数科に入って適性に磨きをかけてください。

スーパーサイエンスハイスクール指定校 宮城県仙台第三高等学校

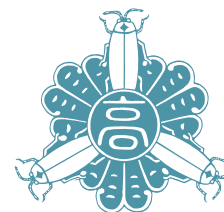
〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷 1-19
Tel. 022-251-1246 Fax. 022-251-1247
sensas@od.myswan.ed.jp
https://sensas.myswan.ed.jp



令和4年度

理数科案内

Science and Mathematics Course Guide



宮城県仙台第三高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
第Ⅲ期 指定校



スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

SSHの活動をリードするのは理数科

令和4年度から5年間、文部科学省から第Ⅲ期 SSHの指定を受けました。SSHの活動の中には理数科だけで実施される「学校設定科目」や優先的に参加できる「先端科学講演会」などのプログラムがあり、先進的な取り組みを普通科よりもいち早く体験することができます。



充実した理数系を軸にした他の教科・科目と融合した学校設定科目

普通科に比べて、理科・数学の授業において高度な内容や、他の教科や科目と融合した学習に取り組むことで、これからの社会で求められている課題発見・解決力や論理的思考力など科学研究に必要な素養を身につけることができます。



知識の向こう側へ

～大きな科学変化を起こそう！～



先端の学問に触れる

研修会や講演会など、教科書を飛び越えた先端の学問を体験する機会を多く設けています。

探究する心を養う「課題研究」

課題研究での経験が生徒の未来を後押しする

1年次では、『SSイノベーション理数探究基礎』を通して「ドローンプログラミング実習」をはじめとする様々な実験・実習により、研究活動に必要な課題発見力、課題解決力、総合実践力を身につけることができます。

2年次からは、『SSイノベーション理数探究Ⅰ』において、それぞれが決めたテーマについて研究を行います。成果をレポートにまとめ発表を行うことを通して、プレゼンテーション能力や科学的コミュニケーション能力の向上を図ります。必要に応じて、大学の先生や、多くの外部の先生から指導・助言を受けることもできます。

これらの体験を通して鍛えられた「考える力」や「粘り強さ」、「探究心」は、進路達成の上で大きな力となるだけでなく、大学進学後にそれぞれの道で活躍するための確かな土台となります。

国際大会での活躍

理数科での学びから世界へ

・Global Link Singapore 2022
へ2年連続2チーム出場！
(2021年度は世界第3位)

研究発表を通して国際性も育成

東北大学 GLC や海外大学と連携し、英語でのコミュニケーションスキルを身につける

英語の授業では、東北大学グローバルラーニングセンター (GLC) の留学生や、マラヤ大学 (マレーシア) の学生に、自分の研究を英語で説明し質疑応答を行う特別プログラムがあります。

自分の言葉で話せる題材があることで、ディスカッションの繰り返しを通し、高い英語コミュニケーションスキルを身につけることができます。

高い進路実績

国公立大学、難関大学を中心に高い進路実績を誇り、仙台三高の進路牽引役となっています。東北大学AO入試のような総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試に強いのも理数科の特徴です。

主な大学 (2022年度入試) ※数字は理数科合格者数。() 内は現役合格者数。

北海道大4(3)、東北大19(11)、筑波大2(2)、埼玉大4(4)、新潟大5(3)、
岩手大6(6)、山形大7(6)、東京都立1(1)、東京農工大2(2)、東京海洋大1(1)、
国公立大学医学部医学科1(1)、東京大1(0)、京都大1(0)、早稲田2(2)

